

新保岩大書
日本讀本

郡村用
五

171
307
函架
五
三
六
八
冊號

換定申請本

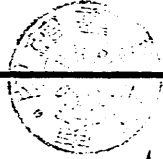
K1208
45
5

K120.8

45

5

No 14549

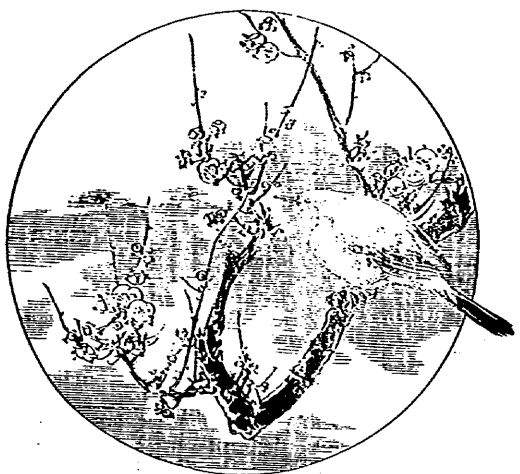


新保磐次著

日本讀本 郡村用 五

東京 金港堂藏版





雪のうちに
春はきにけり
うぐひすの
こはれるなみだ
けふやくくらん

曆。

曆 級 數 學 種 蒔 試 至
初 終

汝等ハ學校ニ入りテヨリスデニ二年ヲ
スギタリ。今汝等ハ三年級ニ入ラントス。
汝等ハ一年ノ長サヲ知レリヤ。年頭ヨリ
年取りニ至ルマデハ一年ニシテ其ノ日數
三百六十五日ナリ。

一年ヲ十二ニ分チテ月トナス。月ニ大

小アリ、大ノ月ヲ三十一日トシ、小ノ月ヲ三十日トス。二月ノミハ二十八日ヲ以テ一ヶ月トス。一、三、五、七、八、十、十二ハ大ノ月ニシテ、四、六、九、十一ハ小ノ月ナリ。汝等試ミニ大小ノ月ノ日數ヲ加ヘバ必三百六十五日トナラン。

一年ノ初メハ一月一日ナリ。汝等ハ一年ノ終ハリハ何日ナルヲ知ルヤ。月ノ大小ハ毎年カハルコトナシ。故ニ汝等一タ

ビ之ヲオボエナバ曆ヲ見ズシテ月ノ大小ヲ知ラン。

曆ト八月ノ大小、年中ノ休日、又ハひがん種蒔キ等ノ月日ヲシルシタル者ナリ。

都會。

都會 住 農家 少 衣服 外品
 買 最 繁昌 賣 東京 名 天
 子 是

汝等ガ住ム村ニハ農家多クシテ商家少シ。衣服其ノ外日用ノ品ヲ買ハントセバ皆町ニ行クナルベシ。汝等ハ休日ニ父母ト共ニ市ニ行キシコトアルベシ。其ノアタリノ村人等皆出デテ物ヲ買フ故ニ、其ノ町ハ大ニ繁昌ス。

シカレドモ其ノ町ノ商人等ガ賣ル所ノ品ハイヅコヨリ買ヒ來レルカ。其レハナホ又大ニシテ繁昌ナル町ヨリ買ヒ來リシ



ナリ。大ナル町ニハ大ナル商人アリテ、國ノ物ヲ買ヒアツメオケリ。小サキ町、村ノ商人等ハ皆行キテ之ヲ買フ、故ニ其ノ繁昌オビタダシ。之ヲ都會ト云フ。

汝等ハカツテ東京

ノ名ヲ聞キシナルベシ。東京ハ吾レ等が
 國ノ最繁昌ナル都會ナリ。東京ニハ吾レ
 等ガ主人ナル天子住ミタマヘリ。東京ヨ
 リ西ニムカヒ步行ニテ十日ホド行ケバ、京
 都ト云フ所アリ。是コニモ天子ノオスマ
 ヒアリテ、亦一ノ都會ナリ。

新年。

兄 妹 儉約 業 男 晝 夜

第 計 朝 新年 仕事 去年
 今年 蠶 上手 心得 耕作 妻
 用意 咄

梅田村ニ農アリ、上田東作ト云フ。梅田
 村ノ北ハ山ニシテ、南ハ田畑ウチ開キ、一ス
 デノ川ハ村ヲメグリテナガル。東作ノ家
 ハ長ク此ノ村ニ住ミ、儉約ニシテ業ヲハゲ
 メリ。東作ノ時ニ至リテ農業ノ本ヲ讀ミ
 テハ之ヲ試ミテ、今ハ此ノ村第一ノ農業家

ト云ハルルニ至レリ。

東作ニ男女二人ノ子アリ、兄ヲ十吉ト云ヒ妹ヲ朶とめト云フ。二人ハタガヒニ中ヨク晝ハツレ立チテ學校ニ行き、夜ハ家ニアリテ父母ノ咄シヲ聞クヲ此ノ上ナキ樂シミトソシケル。

アル年ノ一月一日ノ夜ノ事ナリキ、樂シキ年ノ始メノマト井ナレバ、皆皆オモシロキ咄シヲ云ヒ出デケリ。父子共等ニイヒ

ケルハ、汝等學校ニテ學ビシナラン、一日ノ計ハ朝ニアリ、一年ノ計ハ新年ニアリ、一生ノ計ハ若キ時ニアリト云フコトヲ。人ハアラカジメ仕事ヲサダメオカザレバ、時ニアタリテマゴツク事多シ。汝等去年マデハ學校へ行ク外ハ、風ヲアゲ、犬ヲオヒ、ハ子ツキ、マリウチニ日ヲクラシタリ。十吉、汝ハ今年ヨリハ何ヲシテアソバントオモフヤ。

十吉ハコタヘケルヤウ、私ハ農業ヲ試ミ
ントオモフナリ。

父ハマタ柢とめニ向カヒ、汝ハ何ヲナサ
ントオモフヤ。柢とめノ云フヤウ、私ハ蠶
ヲカヒ、糸ヲ引クコトヲ試ミタシ。

父ハ子供等ノコタヘヲ聞キイトヨロコバ
シゲニ云ヒケルハ、汝等ヨクコソ云ヒタレ。
オヨソ物事ハミヅカラ手ニカケザレバ上
手ニハナレヌモノナリ。今ヨリ其ノオホ

ヨソヲ心得オクハマコトニヨキ事ゾカシ。
吾レハ十吉ニ耕作ノ事ト時時ノ作り物ノ
事ヲヲシヘン。又柢とめニハ花ヲソダツ
ルコトヲヲシヘン。蠶ノ事ハ母ノヲシヘ
ヲウケヨ。トテ妻ノ方ヲ見カヘレバ、妻子共
ニヨロコビテ其ノ用意ヲゾシケル。

金。

金 刀 然 光 鐵 鍋 釜 同

銅 錢 圓 銀 烟管 眞鍮 佛
前 蠟燭 黃金 價 高

此ノ小刀ハ美シカラズヤ。然リ、氷リヨ
リモ光レリ。コノ金ハ鐵ニシテ、鍋釜トオ
ナジ金ナリ。然レドモヨクミガケバカク
ノ如ク光ル。

赤鍋ハ亦鐵ニテ作ラルルカ。赤鍋ハ銅
ニテ作ラル。一錢、二錢ノ錢モ亦銅ナリ。
ココニ又十錢ト二十錢ト一圓ノ錢アリ。

此ノ錢ハ白クシテ小刀ノ光リノ如シ。コ
レハ鐵カ。コレハ鐵ノ如クナレドモ鐵ヨ
リ美クシ。コレハ銀ナリ。

吾ガ父ノ烟管ハ黄色ニシテ光ル金ナリ。
其ノ金ハ眞鍮ナリ。佛前ノ花立テ、蠟燭立
テナドモ亦眞鍮ニテ作レルガ多シ。

きんハ眞鍮ニシテ、眞鍮ヨリハ美シク、重
キ金ナリ。きんハ黄色ナルヲ以テ黃金ト
モ云ヒ、又ここがねトモ云フ。

銀ハ白キ故ニ一ろかねトモ云フ。

鐵ハミガカザレバ色少シク黒シ。故ニ

鐵ヲくろがねトモ云フ。

金、銀ハ美シクシテ、ヨノ中ニ少キガ故ニ其ノ價甚高シ。然レドモ金、銀ハ鐵ノ如ク多クノ用ヲナサズ。汝等ハ鐵ノ用ヲコトゴトク知レリヤ。汝等ノ知リタルダケ數ヘテ見ヨ。

鐵。

針 鋏 庖丁 魚 鋤 鎌 鋏

世 道具 野菜

汝等ノ母ノ用フル針モ鋏モ鐵ニテ作レルモノナリ。針ト鋏ナケレバ、衣服ヲヌフコトアタハズ。

鍋、釜、庖丁モ鐵ニテ作レリ。庖丁ナケレバ、魚、野菜ヲキルコトアタハズ。鍋、釜ナケレバ、食物ヲニルコトアタハズ。

汝等ハ鋤鎌鋏ノ用ヲ知ルベシ。鋤ナク
 バ何ヲ以テアナヲホラン、鋏ナクバ何ヲ以
 テ田畑ヲウタン、鎌ナクバ、何ヲ以テ、稻、麥ヲ
 カラン。

其ノ外大工ノ道具モ大抵鐵ニテ作りタ
 ル者ナリ。大工ノ道具ナケレバ、家ヲ作ル
 コトアタハズ。
 鐵ハタダコレ等ノ用アルノミニアラズ、
 世ノ中ニ大ナル用ヲナスコトナホ甚多シ。

白かねも、
 こがねも、たまも
 何かせん。
 いのちのねやこ
 皆人の
 田のものにせねふ
 春秋の
 鋏や何がね、
 鎌や何がね。



汝等ハノチニ之ヲ學ブ時アルベシ。

農業ノ用意。

田 節 寒氣 立春 間 良 唐

箕 桶 棒 耩 輕 虫 撰 農

夫 犁 草履 草鞋 筵 俵 繩

手傳

年ハ立チ回リテ新年トナリヌレド春ハ
マダ回ラズ。池ノ水ハ氷リ時時雪ノフル

コトモアリテ其ノ寒サイハン方ナシ。

一月ノ五日ハ「寒」ノ入りトイヒ、曆ニハ小

寒ノ節ト云フナリ。是レヨリ三十日ノ間

ハイハユル「寒」中ナリ。其ノ中ニモ一月ノ

二十日ハ寒氣ノ取り分ケハゲシキ時ニシ

テ之ヲ大寒ノ節ト云フ。二月四日ハ寒ノ

終ハリスナハチ「寒」あきニシテ、曆ニハ之ヲ

節分トイフ。寒アケバ春ノ節ニシテ曆ニ

ハ之ヲ立春ノ節ト云フ。故ニ二月四日ハ

節分ニシテ又立春ナリ。小寒ニ至リ上田
東作ハ農事ノ手始メナリトテ、稻種ヲ撰ブ
コトヲ十吉ニヲシヘケリ。

父曰ハク「良キ種ヲ蒔カサレバ良キ取り
上ゲアルコトナシ、故ニ稻種ヲ撰ブハ農家
ノ第一ノ仕事ヅカシ。稻種ヲ撰ブハ寒ノ
入りヨリ十日間ヲ良シトス。種ヲ撰ブニ
ハ唐箕ヲ以テフルヒタル種ヲ取りテ之ヲ
大桶ノ中三四分ニ入レ、之ニ水ヲツギ、棒ヲ

以テカキ回ハスベシ。サスレバ實入り、アシキ糶
ハ輕クシテウカミ、實入り良キ糶ハ重クシテ
早クシヅムナリ。此ノ輕キ者ヲナガシ、重
キ者ヲ種糶トスルナリ、數年試ミタルニ此
ノ方最良シトス。其ノ上寒中種糶ヲ水ニ
ヒタシオケバ夏ニ至リ虫ヲ生ズルコトナシ。
一月、二月ハ作物ミナ寒氣ノタメニ生長
ヲサマタゲラレ、タダ根ヲフヤスバカリナ
リ。故ニ農夫ハ田畑ニ出ヅルコトマレニ

シテ、多クハ家ニアリテ鋤、鍬、犁等ノ農具ヲ
ツクロヒ、又一年中ニ用フベキ草履、草鞋、筵、
俵ヲ作り、繩ヲナヒナドシテ年中ノソナヘ
トナス。十吉ハ毎日學校ヨリカヘリテハ、
父ヲ見習ヒテコレ等ノ仕事ヲ手傳ヒケリ。

數フルコト。

數 已 畝 反 甘薯 俵 把
束 煙草 里 步 大抵 万

疊ミニ枚ノ大キサヲ一步ト云フコトハ
汝等已ニ學ベリ。今又其ノ上ヲ學ブベ
シ。三十步ヲ一畝ト云ヒ、十畝ヲ一反ト云
フ。一反ハ十畝スナハチ三百步ナリ。幅
三間、長サ百間ノ地ハ三百步スナハチ一反
アリ。

此ノ村ニハ一反ノ畑ヨリ甘薯百俵ヲ得
タル人アリ。汝等ハ甘薯何俵ト數フルヲ
ツ子トスレドモ、町ニテ小賣リヲスル人ハ

重サニテ百目、二百目、又ハ五百目ナドト數
フルナリ。五百目ハ水一升ノ重サニ同ジ。
汝等ハ又煙草ノ葉ヲ數フルニ一把、二把、一
束、二束ト云フナラン。然レドモ、煙草ヲバ
亦重サニテ數フルナリ。百目玉ノ煙草ヲ
バ汝等シバシバ見シナラン。

一反ハ三百歩ナリ。十反ハ三千歩ニシ
テ之ヲ一町ト云フ。汝等此ノ一町ト、長サ
ノ一町トヲアヤマルベカラズ。

道ノ長サ一町ハ汝等ガ知ル如ク六十間
ナリ。其ノ三十六町ヲ一里ト云フ。人一
時間歩ム時ハ大抵一里ヲ行クベシ。

一里ノ長サヲ一尺ノものさしニテ計ル
時ハ甚大ナル數トナル。ソハ十尺、百尺ニ
モアラズ、又千尺ニモアフズ、十千尺ニアマ
レリ。十千ヲ万ト云フ。故ニ一里ノ長サ
ハ一万尺ニアマレリ。

庭。

庭峰次郎低腰谷峠

瀧湖近江海

コレハ庭ノツキ山ナリ。ツキ山ニニツ

ノ峰アリ。此ノ家ノ次郎ハ高キ方ヲ朶ほ

みね、低キ方ヲこみねト名ツケタリ。

大峰ト小峰ノ間ニ低キ地アリ。山ト山

ノ間ノ低キ地ヲ谷ト云フ。ココニハ小石

多キ故ニ太郎ハコレヲ白石谷ト名ツケタ

リ。妹ハ小峰ノ腰ナ
ル坂道ニ松ヲ植エ、コ
レヲ小松峠ト名ツケ
タリ。

見ヨ、夕立ちノ水大

峰ヲナガレ下リ一ス

ヂノ低キ所ニアツマ

リテ、瀧トナリ、白石谷

ニオツ。コノ瀧ヲ夕



立チノ瀧ト名ヅクベシ。

其ノ外大峰小峰ノ水多ク谷ニアツマリ、
谷川トナリテ山ヲ出デ、低キ道ヲタヅ子テ
庭ヲトホル、其ノ様サナガラ川ノ如シ。コ
ノ川ヲ何ト名ヅケンカ。白石谷ヨリ出ヅ
ル川ナレバ、白石川ト名ヅケン。川ハナホ
モ低キ所ヲタヅ子テ、ツヒニ池ニ入ル。

池ノ大キナルヲ湖ト云フ。京都ノ東ニ
近江ノ國アリテ、ココニ名高キ近江ノ湖ア

リ。其ノ幅三里、長サ二十里、回りハ六十里
アリ。大キナル湖ニハ大キナル川川ノナガレ
入ルモアリ、又之ヨリナガレ出ヅルモアリ。
海ハ又湖ヨリモ大キナリ。湖ハ吾レ等
ガ住メル土地ニカコマレタルニ、海ハカヘ
リテ其ノ土地ノ回りヲカコメリ。川ハ山
ヨリ出ヅルモ湖ヨリ出ヅルモ、其ノ末ハ大
抵皆海ニ入ルナリ。

春季皇靈祭。

漸 荒 垣 春季皇靈祭 國旗

先祖 代 祭 秋季 參 祖母

次第 蠶室 相談 頃 下旬

最 老人 明

春風漸暖カニシテ野ノ草モ青ミワタリ、梅ノ花ハ木ノ上ノ雪ト入りカハリヌ。農夫ハ野ニ出デテ荒レタル地ヲ鋤キ返シ、垣ヲユフナド漸イソガシクナリヌ。今日ハ

三月二十三日ニテ春季皇靈祭ナレバ學校ハ休業シ、家ゴトニ國旗ヲ立テテ農業ヲ休メリ。今日ハ春季皇靈祭ニシテ、天子ミヅカラ先祖代代ノ祭リヲシタマフ日ナリ。此ノ祭日ハ春ト秋ニアリ。春ノ祭リヲ春季皇靈祭ト云ヒ。秋ノ祭リヲ秋季皇靈祭ト云フ。

今日ハひがんノ中日ナリトテ、祖母ハ寺ニ參リタリ。東作ハ明日ヨリ稻ノ種ヲヒ

タサントテ十吉ト共ニ用意ヲナセリ。母
 モ亦蠶室ヲツクロハントテ柵とめト相談
 ヲナセリ。曆ニハ春ノひがんノ中日ヲ春
 分ト云フ。春季皇靈祭ハ必春分ノ日ナリ。
 春分ハ毎年三月ノ二十二、三日頃ニシテ、
 コノ日ハ晝ト夜ノ長サ同ジ。コレヨリ晝
 ハ次第ニ長ク、夜ハ次第ニ短クナル。
 六月ノ下旬ニハ晝最長ク、夜最短クナル。
 其レヨリ夜ハ次第ニ長ク、晝ハ次第ニ短ク



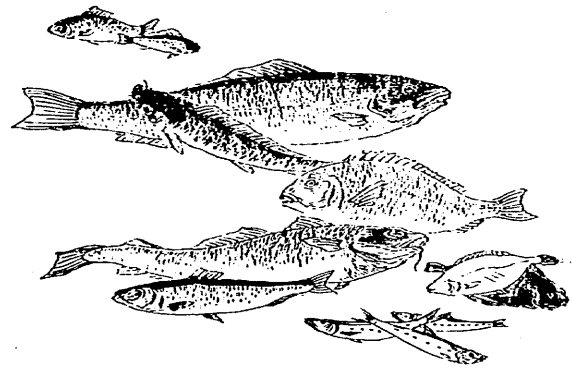
ナリテ、九月二十三日
 頃ニハ晝夜ノ長サ又
 同ジクナル。コノ日
 ハ秋ノひがんノ中日
 ナリ。秋ノひがんノ
 中日ヲ秋分ト云フ。
 秋季皇靈祭ハコノ日
 ニアリ。コレヨリ夜
 ハ次第ニ長クナ

リテ、十二月中旬ニハ夜最長クナル。
三月ヨリ五月マデヲ春トシ、六月ヨリ八月マデヲ夏トシ、九月ヨリ十一月マデヲ秋トシ、十二月ヨリ二月マデヲ冬トス。

魚。

- 圖 鯛 鱈 鮭 鱒 鮠 鮓
- 油 肥料 鯉 鮒 鮭 網 釣
- 賤 貴

此ノ魚ノ圖ヲ見ヨ。汝ハイヅレガ鯛ニ
 レテ、イヅレガ鱈ナルヲ見分ケ得ルカ。鯛
 ハ海魚ニシテ、其ノ色赤ク光リアリ、魚ノ中
 最美シク、最旨キ者ナリ。鱈ハ一面ハ黒ク、
 一面ハ白キ魚ニシテ、其ノ黒キ方ニニツノ
 目アリ。鱈ハ美シキ魚ニアラザレドモ、雪
 フル頃ニハ亦旨シ。鮭ハ食用ニシ、又ハ
 之ヲ煮テ油ヲ取り、又ハ干シテ肥料ニス。
 コレ等ノ魚ハ皆海ニ住ム。



鯉、鮒、ハ川、池、又、ハ湖
ニ住ム。 鮭、ハ海ニ住
メドモ子ヲ生ムタメ
ニ、毎年海ヨリ川ニ入
ル。
汝ハ釣リセシコト
アリヤ。 魚ハ釣リテ
取リ、又網ニテモ取ル。
鮒、鯉、鮭等ハ網ニテ取

ル。 鯛、鱈等ハ釣リテ取ル。

鯛、鮒ノ如キハ價賤シクシテ世ニ貴バレ
ザレドモ、世ノ中ノ用ヲナスコトハ之ニ及
ブ魚ナカルベシ。

苗代ト田植。

雁 歸 燕 軒 時候 様 苗代
付 幼 生徒 當 耕 早稻
中稻 晚稻 教 梅雨 面白

歌 己 各

ひがんスギテ十日バカリ立ツトキハ櫻
 ノ花漸開キ、雁ハ北ニ歸リ、燕ハ軒ニ來ル、寒
 カラズ、アツカラズ、一年中ノ最良キ時候ナ
 リ。 稻ノ種ヲ下スベキ時來レリ、蠶ノ生マ
 ルベキ時至レリ。 十吉ニモたどめニモ最
 面白ク最イソガハシキ時ナリ。

父ハ十吉ニ云フ様、ハヤ四月ノ初メニモ
 ナリタレバ、苗代田ヲ作ラ子バナラズ。 稻

ヲ作ルニハ初メ、苗代田ニ種ヲ下シ、其ノ芽
 少シク成長シテ後、田ニ植エ付クルモノナ
 リ。 苗代田ハ幼キ者ヲソダツル所ナリ。
 苗代田ハ小學校ノ如シ。 小學校ニテ良キ
 生徒トナラザレバ成長ノ後良キ人トナル
 コトアタハズ。 苗代田ニテ良キ苗トナラ
 ザレバ良キ稻トハナラヌモノナリ。

苗代田ハ西北ニ森カ小山ノアリテ寒キ
 風ヲフセギ、日當リノ良ク地味ノ良キ田地

ヲ撰ブナリ。故ニ吾ガ家ニテハイツモ梅
 田坂ノ下ナル上田ヲエラベリ。サテ秋ノ
 頃ヨリヨク耕シテ十分ノ肥料ヲ入レ、春ニ
 至リテ又肥料ヲ入レ、ヨク耕シオケリ。今
 ハ之ヲナラシ水ヲ入レテ早稻ノ種ヲ下ス
 ベキ時ナリ。是レヨリ中稻、晚稻ト各十日
 ホドヲヘダテテ種ヲ下スベシト教ヘテ種
 蒔キニカカリケリ。

月ノ末ニナリヌレバ苗ハモエ出デ、五月

一日ノ八十八夜ノ頃ニハ苗代田ハ青キ延
 ヲシキタルガ如シ。八十八夜トハ立春ヨ
 リ八十八日目ヲ云フナリ。

苗オヒ立チテ七、八寸ノ長サトナレバ田
 植エニカカルナリ。土地ニヨリ少シノチ
 ガヒハアレド、大抵早稻ハ五月ノ初メニ、中
 稻ハ五月ノ末ニ植エ付クルナリ。六月ニ
 入りテヨリ一个月ノ間ハ雨多シ、アタカモ
 梅ノ實ノ黄バム時節ナレバ之ヲ梅雨トイ

フ。晚稻ハ大抵此ノ雨ヲマテテ植エ付ケ
ヲナスナリ。

田植エノ時ハ男モ、女モ、老人モ、子共モ皆
田ニ下リテ聲面白ク歌ヒツツ苗サス様ノ
樂シサヨ。

田植エ終ハリテ水ヲタタヘタルケシキ
ハ道行ク人ダニ足ヲ止メテ、立ち去リガタ
キ心地ス。マシテヤ己レガ手ニカケテソ
ダテタル農夫ノ樂シミハ中中コトバニ盡

クサレズ。

海ノ中。

獸 飛 走 苔 岩 生 昆布

和布 鹿角菜 寒天草 風味

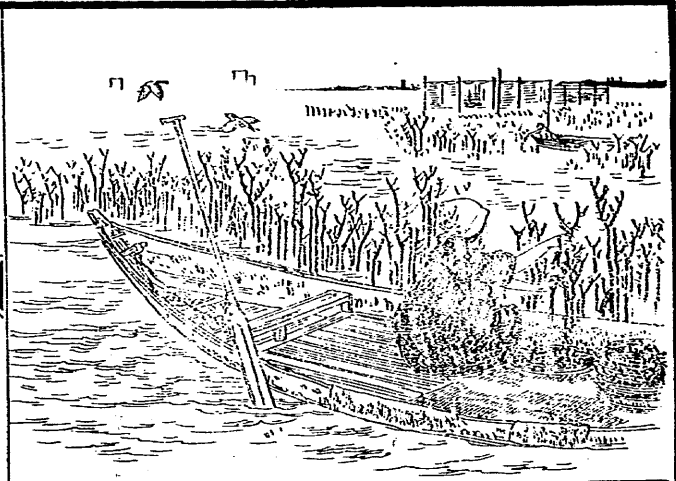
海苔 製 近 遠 浅 昔

鳥獸ハ地ノ上ニ住ミ、魚ハ水ノ中ニ住ム。
鳥ハ飛ビ、獸ハ走り、魚ハオヨグ。

地面ニハ高低アリテ、高キ所ハ山ト云ヒ、

坂ト云ヒ、低キ所ハ平地ト云ヒ、谷ト云ヒ、大
小ノ草木、至リテ小サキ苔ナドモ生ヒタリ。
水ノ底ニモ高低アリテ、高キ所ハ水淺ク、低
キ所ハ水深ク、草モシゲリ苔モ生フ。

海ノ水ハ鹽カラクシテ之ニ生フベキ水
草、水苔オノツカラ定マレリ。昆布、和布、鹿
角菜、寒天草ハ海ノ底ノ草ナリ。海草ニハ
食物トナルモノアリ、肥料トナルモノアリ。
海ノ苔ハ岩ノ上ニ生ジ、其ノ色紫ナリ、之



ヲ海苔ト云フ。其ノ
風味甚ヨキ故人取り
テ食物トナス。海苔
ハ亦昆布、和布等ノ海
草ノ上ニモ生ズルナ
リ。然レドモヨキ品
ヲ多ク取ルニハ、海ノ
淺キ所ニ木ノ枝ヲ多
ク立テテ、其ノ上ニ海

苔ヲ生ゼシム。

海苔ハ東京ニ近キ海ニ生ズルモノ最良シ。海ノ遠淺數町ノ間畑ノ如クニ木ノ枝ヲナラベ立テタリ。是レヲひびト云フ。上ノ圖ヲ見ヨ。コレハ今ひびニ生ジタル海苔ヲ取ル圖ナリ。

昔東京ノ淺草ニテヨキ海苔ヲ製セシ故、今ニ至ルマデ淺草海苔ノ名ヲノコセリ。

六足蟲。

六足蟲 太蝶 且實 無袋
化破 有似 形樹木 姪桑

繭 真綿 絹糸 吐

太郎「今年ハ毛虫ノ多キ年カナ。毛虫ハイヅコヨリ來ルナラン。」

父「毛虫カ。毛虫ハ蝶が生ミタルナリ。」

太郎「蝶ガ。アノ美シキ蝶ガ、カカルニクラシキ毛虫ヲ生ムトヤ。ウソニハアラズ

ヤ。且毎年毛虫マヅ出デテ、後ニ蝶出ヅルモノヲ。

父「ウソニハアラズ。蝶ハ秋ニ卵ヲ生ミオクガ、春ニ至リテ毛虫是レヨリ生マルルナリ。」

太郎「然ラバ其ノ毛虫ハイカニナルカ。」

父「毛虫ハ皆蝶ニナルナリ。毛虫ハ木ノ葉ヲ食ヒテ成長シ、ツヒニ身ヨリ糸ヲ出シテ木ノ上ニ袋ヲ作りテ之ニコモル。カク

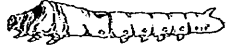
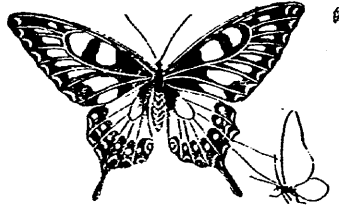
シテ數日又ハ數十日ノ後蝶ニ化シ、袋ヲ破リテ出ヅルナリ。

太郎「面白キ事カナ

蝶ハ皆毛虫ノ化シタル者カ。」

父「然ラズ。毛ノ無

キ虫ノ化シタルモアリ。タダシ毛ノ有ル



モ無キモ其ノ形ハ皆ヨク似タリ。是レ等ノ虫ハ皆六本ノ足アルヲ以テスベテ六足蟲ト云フ。此ノ虫ドモノ作ル袋各スコシノチガヒアリ。汝ハコレヨリ心ヲ付ケテ樹木ノ間ヲセンサクセヨ。

太郎「ア、今思ヒ出ダシタリ。母上ト姉上ノ養ヒタマフアノ蠶ハ桑ノ葉ヲ食ヒテ成長シ、糸ヲ吐キ出シテ袋ヲ作りテ之ニコモリ、後ニ蝶トナリテ袋ヲ破リテ出ヅルニ

アラズヤ。是レモ亦六足蟲カ。

父「太郎デカシタリ。蠶ハ實ニ六足蟲ナリ。六足蟲ノ中ニ蠶ガ世ニ貴バルルハ何ノ故ナルヲ知ルカ。」

太郎「世ニ用アルガ故ナリ。蠶ノ作レル袋ハ繭ニシテ繭ハノバシテ真綿トナシ、又引キテ絹糸トナスニアラズヤ。」

父「然リ。世ニ用アルモノハ世ニ貴バル。」

養蠶。

養蠶 牡丹 箱 羽簾 細 手帳
眠 薄皮 頭 籠 自由 藁 柴
茅 三角 曲 日光 棚 自 先
度

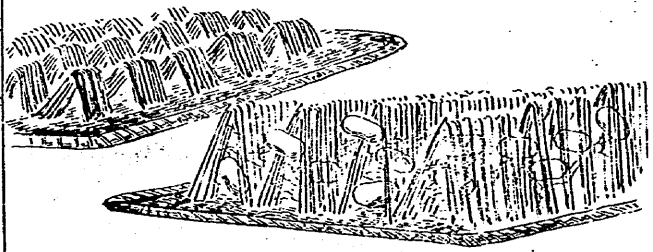
十吉ノ田植エニイソガハシキ時ハたど
めモ養蠶ニイソガハシ。四月ニ至リ庭ノ
牡丹十分開キタル頃ニハ畑ノ桑モ茅ヲ出
スモノナレバ上田ノ家ニテハ此ノ時ヲ見

計ラヒテ種紙ヲ箱ヨリ取り出ダシタリ。
種紙トハ蠶ノ化シテ蝶トナリタルガ卵ヲ
生ミツケタル紙ニテ是レハ去年此ノ家ノ
蠶ガ生ミタルモノナリ。種紙ヲ暖カナル
室ニカケオク時ハ數日ヲヘテ種虫出ヅ。
之ヲ羽簾ニテ紙ノ上ニハラヒオトシ、桑ノ
葉ヲ細ニキザミテ十分ニアタフルナリ。
母ハたどめニ云フ様桑ヲアタフルコト
ハ甚手數ナルモノナレバ、忘レザル様手帳

ニカキ付ケオクベシ。先ヅ生マレタル初
 メノ日ハ四、五度ヲ良シトシ、二日目ハ五、六
 度、三日目ヨリ四眠マデハ六、七度トス。其
 ノアタヘ方ハ日ヲオヒ次第ニ多ク、十分ニ
 アタフベシ。又桑ノ葉ハ初メハ細カニキ
 リ、四眠ノ後ハ一葉ノママアタヘテ良シ。
 柢とめ、四眠トオホセラレシハ何ノ事
 ナリヤ。

母答ヘテ云フ、蠶ハ生長ニシタガヒ、四度

身ノ薄皮ヲヌグモノ
 ニテ、此ノ時ハ皆皆頭
 ヲモタゲテ食ヲ休ム、
 之ヲ蠶ノ休ミ或ハ眠
 リト云フ。眠リ初ム
 レバ兩三日ノ間サム
 ルコトナシ。サマル
 時ハ又食ヒ初メテ四
 五日又ハ六、七日ノ間



休ムコトナシ。

第四ノ眠リサメテ七、八日ヲフレバ、蠶ハ食ヲタチ、繭ヲ作ルベキ所ヲモトム。之ヲ時トシテまぶーニ拾ヒ上ゲ自由ニ繭ヲ作ラシム。まぶーハ蘘、柴、茅等ヲ三角ニ折り曲ゲテ作りタル者ナリ。其レヨリ七、八日ヲフレバ蠶ハ繭ヲ作りテ之ニコモル。此ノ時糸ニクルベキ繭ハ日光ニサラスベシ。種ヲ取ルベキ繭ヲバ籠ニ入レテ棚ニノセ

オク時ハ蝶自繭ヲ出ヅ。之ヲ紙ノ上ニオキテ、卵ヲ生マシメ、來年ノ種紙トナスベシ。

富士山。

駿河 富士山 扇 倒 播鉢 伏

日本 常

東京ト西京ノ間ニ駿河ト云フ國アリ。此ノ國ニ富士山アリ。汝等ハカツテ其ノ名ヲ聞キシナラン。



富士山ハ形美シキ山ナリ。アル人ハ扇
ヲ倒ニカケタルガ如シトタトヘ、アル人ハ
播鉢ヲ倒ニ伏セタルガ如シトタトヘタリ。
富士山ハ吾ガ日本第一ノ高山ナリ。人
モシ高大ナルコトヲ云ハント思ヘバ「富士
ノ山ホド」ト云フコトシバシバアリ。
富士山ノ上ニハ常ニ雪アリ。遠ク之ヲ
ナガムレバ日ニカガヤキテ白ク美シ。甚
高キ所ハ甚寒クシテ夏モ雪トケズ。

明治二十二年一月八日印刷
同 年同 月九 日出板
定價七錢

版權登錄

版權所有

著作者 新保 磐 次

發行者 原 亮 三 郎

印刷者 關 幸 吉

大賣捌 金港堂支店

賣捌 各府縣下代理大賣捌所

東京本郷區駒込西片町十番地

東京目木橋區本町三丁目七番地

全

大阪其父室寺町四丁目十二番地

金港堂原亮三郎支店

金港堂支店

K120.8

